



# 新年のごあいさつ

## 『県南地域の中心となるまちを目指して』

牛久市長 池辺 勝幸



明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。旧年中は市政運営に多大なるご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、東日本大震災からの復旧は進んだものの、多くの市民が不安を抱えている放射能への対策に迫られた1年でした。当市が比較的線量の高い地域だったことから、市民の皆様の不安を払拭するため、除染作業や測定器の貸し出し、子どもたちの内部被ばくの検査など、さまざまな対策を行っております。

牛久市では、現在「スローシティ」を基本理念としたまちづくりを進めております。「スローシティ」のまちづくりは、地域の皆様による支え合いの地域づくりです。地域に住む皆様が互いに協力し合うことで、ゆったりと安心して生活できるまちの実現に取り組んでまいります。

今後、牛久市独自のまちづくりを展開し、市の魅力を市外の方々にも広めることで、多くの人が集い、多くの若い世代に住んでもらえる県南地域の生活圏の中心となるようなまちづくりを推進してまいりますので、今後ともより一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、市民の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。新年のあいさつとさせていただきます。

## 将来に向かって飛躍するために

謹んで新年の御祝詞を申し上げます。

市民の皆様におかれましては、心も新たに、健やかな初春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年中は市政ならびに市議会に対し、温かいご支援とご理解を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、尖閣諸島の領土問題やTPP加盟問題、近隣都市のつくば市では竜巻による被害が出るなど、環境問題も深刻化している現状にあります。また、社会保障と税の一体改革と関係づけられている消費税の引き上げ問題など、文字通り多事多難が予想されるところではございますが、昨年のオリンピック開催により、力の限り挑む選手に大きな勇気と感動をいただき、迎えた平成25年は、その感動を胸に、この厳しい状況が、少しでもより良い方向へ向かうよう期待をいたすところでございます。

また、現在、本市をはじめ地方公共団体においては、厳しい財務事情や少子高齢、地方分権など、将来に向けた大きな課題を抱えております。

市政に対する議会の監視機能と、民意を施策に反映させていくことの重要性がますます問われる中、議会の役割と責務をより一層認識し、その機能を最大限発揮して、笑顔があふれる安らぎのあるまちづくりに向けて、市民の皆様と手を携え、さらに前進してまいりますので、どうか本年もより一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が市民の皆様にとりまして、実り多く健康で幸せな年となりますよう心よりご祈念申し上げます。年頭のあいさつといたします。



議長  
柳井 哲也



副議長  
板倉 香



牛久市議会

# 姉妹都市・親善友好都市から新年のメッセージ

## 【姉妹都市】 オーストラリア オレンジ市から



オレンジ市長  
ジョン・デイビス

感謝いたします。また、牛久市のスタッフの皆様が、生徒たちが日本の生活を体験し、日本訪問を楽しむための援助をしてくださったことにもお礼申し上げます。彼らは、感謝の言葉を日本語でお伝えしましたが、これは、なかなかの功績であります。

この姉妹校生徒交換の企画は、将来も長くにわたって継続し、この企画をとおして両市の高校生たちが多くを学び、そして楽しく異文化を体験できるものと信じています。

最後に、オレンジ市議会、オレンジ市姉妹都市委員会の議長および委員、さらにオレンジ市民を代表して、新年が幸多き、安全で繁栄の年になりますよう、お祈りいたします。2013年が、平和で調和に満ちた年でありますように。

私たちの姉妹都市である牛久市の皆様は新年のごあいさつをお届けすることを、とても喜ばしく思います。

昨年は、オレンジ市の2つの高校の生徒たちが牛久市を訪問いたしました。彼らが遠く離れた牛久にいた間、心からのおもてなしをしていただいたこと、さらに市長が彼らのために時間を割いてくださったことに

## 【姉妹都市】 カナダ ホワイトホース市から



ホワイトホース市長  
ダン・カーティス

姉妹都市である牛久市の皆様に新年のごあいさつをお送りすることを、とてもうれしく思います。

2013年がきつと喜びにあふれた繁栄の年になると信じています。

昨年7月、ホワイトホース市の青年団員に自宅を開放していただいた、牛久市の多くのホストファミリーの皆様は、誠に感謝いたします。今年の夏には、牛久市からの青少年団のお越しを楽しみたいと思います。

北国の生活を共有していただきたく思います。私たちの長きにわたる友情は、とても価値のあるものであると考えます。この青少年団交換事業を通して、子どもたちは未知の経験への扉を開き、そして我々2カ国間の差異を縮めることにもなっています。

2013年が牛久市にとって素晴らしい年になりますよう、お祈りいたします。

牛久市民の皆様、明けましておめでとうございませう。お健やかに平成25年のすがすがしい初春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は、東日本大震災からの復旧・復興に全力で取り組んだ一年でしたが、そのような中で、貴市との間で「災害時の相互応援に関する協定」を締結できましたことは、両市の交流と信頼の絆をさらに深める大きな一歩となりました。

毎年、「うしくかつば祭り」などに多くの市民が参加し、貴市からもハイキングなどに多数お越しいただいておりますが、こうした交流をとおして両市の信頼の絆が一層深まりますことを心より期待いたしております。4月には、「西山研修所」が市の宿泊研修施設としてリニューアルオープンいたしますので、牛久市民の皆様にもご活用いただければ幸いに存じます。

結びに、貴市の益々のご発展と市民の皆様のご健勝・ご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年のあいさつといたします。

牛久市の皆様、明けましておめでとうございませう。皆様方には、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、当町の「かつばのふるさと祭り」に、多数の牛久市民の方々にお越しいただき交流を深めていただきましたこと、大変ありがとうございました。心から御礼申し上げます。

さて、当町では、震災で半壊いたしました「ステーキハウスふるさと」跡地に「地場産業振興施設」の建設を進めております。この施設は、地場産の食材を使用した食事の提供施設で、5月のオープンを目指しております。こちらにお出掛けの際は、ぜひお立ち寄りください。

今後交流事業を通して、牛久市と色麻町の絆をより一層強いものにしてまいりたいと思っております。今年7月の「うしくかつば祭り」には、牛久市の皆様にお会いできることを心から楽しみにしております。

牛久市の益々のご発展と市民の皆様のご多幸をお祈り申し上げます、新年のあいさつといたします。

## 親善友好都市 宮城県 加美郡 色麻町から

色麻町長  
伊藤 拓哉



## 姉妹都市 茨城県 常陸太田市から

常陸太田市長  
大久保 太一

